

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	道路橋りょう維持管理事業			事業コード	0707
担当課等	所属名	建設部 道路管理課	担当係名		
	課長名	建設部 道路管理課	担当者名	千田 敏	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	快適な居住環境の実現	コード 3
	基本事業	生活道路環境の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 2項 2目 道路橋りょう維持管理事業 (001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 不明年度～)		
事務事業の概要	市道の維持管理として、舗装補修、一般維持工事及び施設維持保守点検等を行う。					
根拠法令等	道路法第16条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
一般交通の安全確保と沿道環境の維持を目的とし道路管理者が行う維持管理業務として開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
年々、道路管理延長が増加する中、補修(穴埋め等)で対応しているが、毎日のように、市民・町内会・議員等からの要望・苦情が絶えない。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
財政事情の悪化により、全ての要望への対応は困難であり、今後、計画的な改築や修繕を行う場合に緊急度や重要度を加味した選択が必要となる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市道とその利用者。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市道面積 単位 千㎡	
				B. 市道延長 単位 km	
				C. 市道(舗装道)延長 単位 km	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 既存道路機能及び交通安全を確保する為、要望・苦情等による舗装補修(穴埋め補修等)及び清掃等を実施。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  緊急度、重要度を加味し、平成22年度と同様な事業展開を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 舗装補修予算措置対応面積 単位 千㎡	
				B. 道路清掃予算措置延長 単位 km	
				C. 側溝清掃予算措置延長 単位 m	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	一般交通の安全確保と沿道環境の維持。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 舗装補修対応面積 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 単位 千㎡	
				B. 道路清掃実施延長 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 単位 km	
				C. 側溝清掃実施延長 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 単位 m	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのよう貢献するか)	道路環境の向上が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市道改良率(単位:%) 市道除雪率(単位:%)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市道面積	千㎡	9820	9864	10173	9934	10012	10090	年度
対象 指標B	市道延長	km	1681	1682	1742	1686	1689	1692	年度
対象 指標C	市道(舗装道)延長	km	1374	1377	1382	1383	1388	1393	年度
活動 指標A	舗装補修予算措置対応面積	千㎡	64	75	80	79	57	57	年度
活動 指標B	道路清掃予算措置延長	km	2089	2139	2118	1878	2035	2035	年度
活動 指標C	側溝清掃予算措置延長	m	654	1428	1166	1419	1167	1167	年度
成果 指標A	舗装補修対応面積	千㎡	64	75	80	79	57	57	年度
成果 指標B	道路清掃実施延長	km	2089	2139	2118	1878	2035	2035	年度
成果 指標C	側溝清掃実施延長	m	654	1428	1166	1419	1167	1167	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	408,992	453,484	484,142	490,163	407,309	414,552	*****
財源 内訳	④国	千円	3,850	154,400	183,751	187,443	10,202	7,700	*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	405,142	299,084	300,391	302,720	397,107	406,852	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	408,992	453,484	484,142	490,163	407,309	414,552	*****
	延べ業務時間数	時間	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	432,992	477,484	508,142	514,163	431,309	438,552	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	<p>① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？</p>	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 道路の安全かつ円滑な通行の確保に寄与している。
	<p>② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？</p>	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	<p>↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他</p> 理由:
	<p>③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？</p>	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	<p>↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他</p> 理由:
	<p>④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？</p>	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	<p>↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他</p> 理由:
有効性評価	<p>⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 道路管理延長の増加や施設の老朽化に対し、事業費の不足が影響し、十分な維持管理が出来ない状況となっている。
	<p>⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？</p>	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 道路の安全かつ円滑な通行の確保が困難となり、多大な支障が生じる。
	<p>⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？</p>	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 国県道の維持管理事業  ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない  理由: 各々管理する対象施設や管理の程度が異なり、統廃合は出来ない。
効率性評価	<p>⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状でも事業費が不足している上、維持管理事業は、安全性やある程度の耐久性を考慮して実施しており、これ以上の経費の削減はできない。また、新たな管理施設が毎年増えるとともに、既存施設の老朽化が進んでおり、この点からも、経費の削減はできない。
	<p>⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 要望・苦情等による臨機への対応が多く、人件費を削減する余地はない。管理施設の増加と老朽化により、要望・苦情等への対応業務は増加することが見込まれる。
公平性評価	<p>⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	<p>⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること  ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
------------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り, 反省点) ・市道の適正な維持管理のため、必要な事務事業である。 ・今後とも、限られた財源のなかで緊急度・重要度を踏まえながら事務事業を行っていく必要がある。
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	
		
方向付けの理由と改革改善の内容 一次評価の四項目全てが妥当であることから、現状維持とする。		